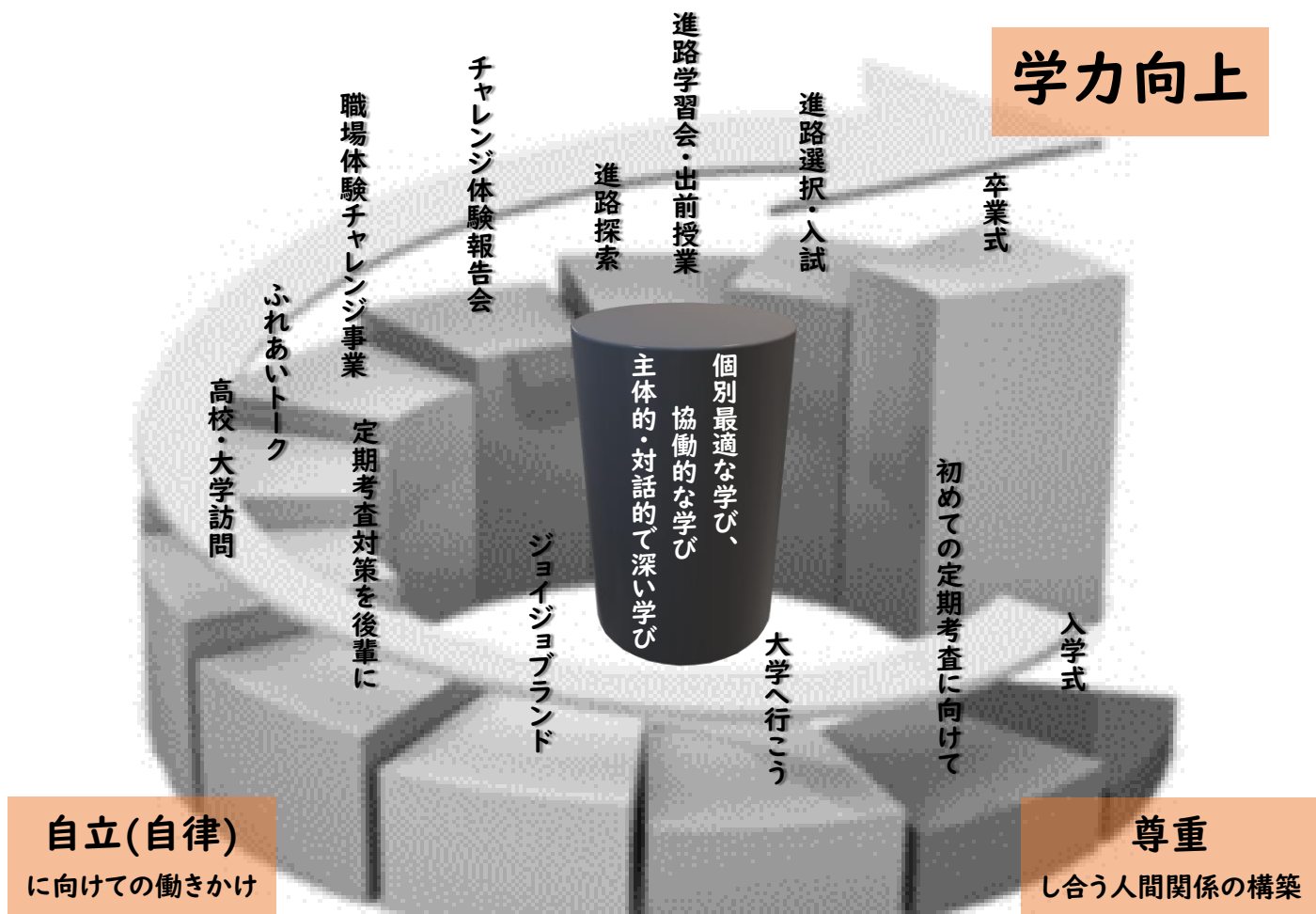


『互いを認め合い、すすんで学び続ける児童・生徒の育成』

※ 校区小中学校共通目標として設定



特別支援教育の視点 ～徹底的に「支える」指導～

<目指す子ども像>

- ・ **自立（自律）** に向かって今を頑張り、互いを**尊重**しながら高め合える人間関係を構築する生徒
- ・ 「マナー」、「モラル」、「ルール」が守れる生徒
- ・ 「自己肯定感」、「目的意識」、「道徳的判断力」をもった生徒
- ・ 一人ひとりの多様性を理解し「つながり」を大切にできる生徒

<目指す教職員像> ※2点目はHP用からは割愛

- ・ 教育目標の達成に向け、工夫・努力する教職員
- ・ 特別支援の視点を土壌にすべての生徒を「支える」教職員（「させる」ではなく「支える」教育）
- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的で対話的な深い学び」を実現するため授業改善を続ける教職員
- ・ チームとして協働し互いに高めあえる関係の教職員

<目指す学校像>

- ・ 生徒、保護者、地域から信頼される「安心・安全」が担保された学校
- ・ 生徒が「行きたい」と思える学びや育ちがある学校
- ・ 小中9年間の学びのため「積極的に共有・協働」をする学校

互いを認め合い、すすんで学び続ける児童・生徒の育成

「**自立(自律)**」と「**尊重**」と言い換えて

自立(自律)

「**自立(自律)**に向かって、今をしっかりと頑張ることができているだろうか」、「それって**自立**に向かっての行動といえるだろうか？未来の自分を支える行動なんだろうか」

尊重

「**尊重**し、高め合える関係を築くことができているだろうか」、「それって**尊重**している行動っていえるのだろうか？」



徹底的にこの発問を繰り返し、
人を尊重し、人に感謝し、

未来の自分のために今を頑張れる子を
教職員一丸となって育てます。



勸修小・小野小・勸修中

